


Part 8

印刷处理

1 プリンター・印刷・用紙の設定

ここでは、本CADシステム上で行う印刷処理について説明します。

[ツール]－[システム設定]内の[印刷・メニュー]を選択することにより、各種設定を一括して行うことができます。


 **照** → Part1 図面管理 「4. システム設定を行う」

ファイル(F) → プリンターの設定

プリンターの設定を行う

プリンターの設定を行います。

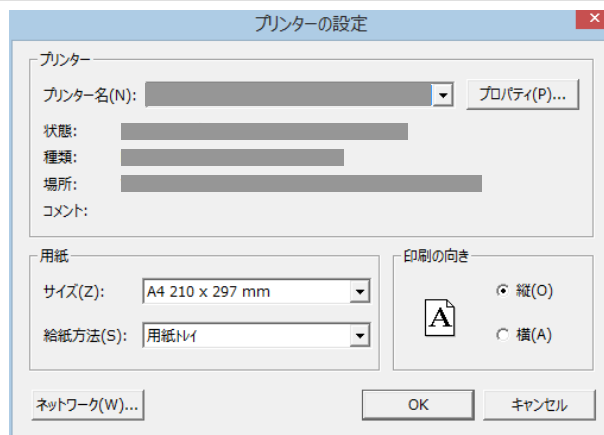
コマンドの起動方法

■ツールバーメニュー → 

■ツールボックス (サブメニュー) → [印刷] (－[プリンターの設定])

■ツールボックス (ポップアップメニュー) → [印刷] (－[プリンターの設定])

- 1 本コマンドを起動し、「プリンターの設定」ダイアログボックスより、プリンターと出力用紙サイズ・印刷の向きを指定します。
- 2 「プリンター名」ボックスの下向き矢印ボタンをマウスでクリックし、ドロップダウンリストからプリンターをマウスでクリックしてください。
- 3 「サイズ」ボックスの下向き矢印ボタンをマウスでクリックし、ドロップダウンリストから用紙サイズをマウスでクリックしてください。
- 4 「印刷の向き」ボックスより、用紙向きチェックボックスの縦、横のいずれかをマウスでクリックし、チェックします。
- 5 [OK]をマウスでクリックします。




ファイル(F) → 印刷設定

印刷設定を行う

印刷詳細を設定します。

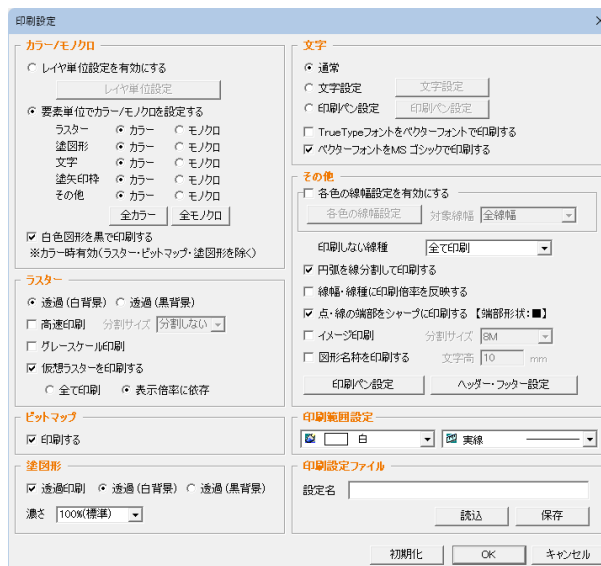
コマンドの起動方法

■ツールバーメニュー → 

■ツールボックス (サブメニュー) → [印刷]－[印刷設定]

■ツールボックス (ポップアップメニュー) → [印刷]－[印刷設定]

- 1 本コマンドを起動すると、「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。
[初期化]をクリックすると、設定項目を初期状態に戻します。



印刷処理

- なお、[ツール]－[システム設定]－[印刷・メニュー]を選択し、「図面ごとの印刷設定を無効にする」チェックマークをオンにすると、範囲設定、範囲移動の設定は行えません。

一括設定

全てのレイヤに対して、一括で印刷対象の選択・解除を行います。

印刷線色・印刷線種・印刷線幅

選択中のレイヤの印刷線色・印刷線種・印刷線幅

選択状態のレイヤに対して、印刷線色（・印刷線種・印刷線幅）の設定・解除を行います。

〔設定〕ボタンを押すと、ペンコントロールパネルが表示されます。

いずれかを選択し、〔OK〕をクリックすると、印刷線色（・印刷線種・印刷線幅）を選択されたレイヤに設定します。

〔レイヤ依存色〕ボタンを押すと、選択されたレイヤの印刷線色（・印刷線種・印刷線幅）をレイヤ依存の色に設定します。

〔解除〕ボタンを押すと、印刷線色（・印刷線種・印刷線幅）を解除します。（各要素の設定で印刷します）

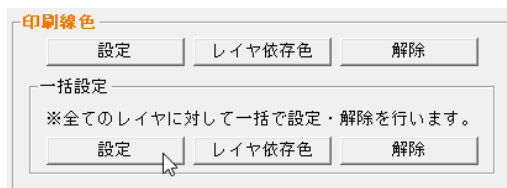
一括設定

全てのレイヤに対して、一括で印刷線色（・印刷線種・印刷線幅）の設定・解除を行うボタンです。

〔設定〕ボタンを押すと、ペンコントロールパネルから印刷線色（・印刷線種・印刷線幅）を選択して全レイヤに設定します。

〔レイヤ依存色〕ボタンを押すと、全レイヤの印刷線色（・印刷線種・印刷線幅）をレイヤ依存の色に設定します。

〔解除〕ボタンを押すと、全レイヤの印刷線色（・印刷線種・印刷線幅）を解除します。（各要素の色で印刷します）



ポップアップメニュー

一覧内でマウス右ボタンをクリックすると以下のポップアップメニューが表示されます。

レイヤ選択

〔全選択〕・〔選択反転〕・〔選択解除〕

印刷

〔設定〕・〔解除〕

印刷一括設定

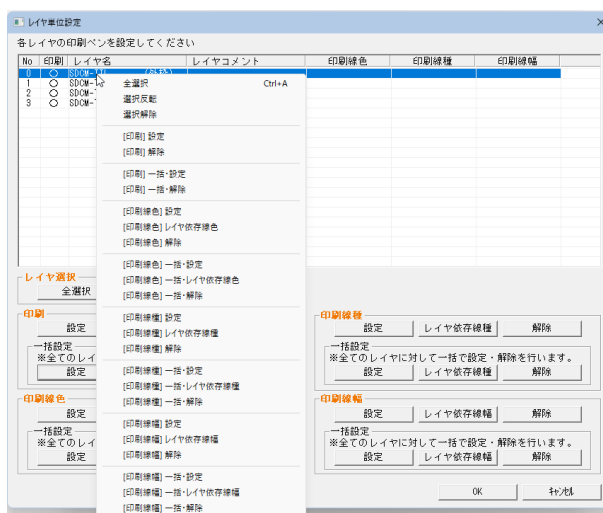
〔設定〕・〔解除〕

印刷線色（・印刷線種・印刷線幅）

〔設定〕・〔レイヤ依存色〕・〔解除〕

印刷線色（・印刷線種・印刷線幅）一括設定

〔設定〕・〔レイヤ依存色〕・〔解除〕

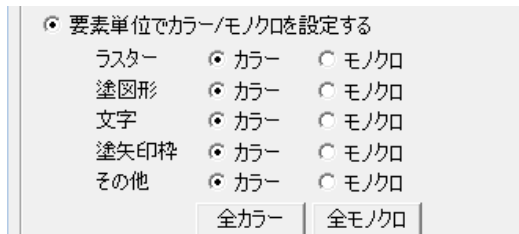


「レイヤ単位設定」ダイアログボックスで〔OK〕をクリックすると、「印刷設定」ダイアログボックスに戻ります。

- レイヤ単位設定での印刷(非印刷レイヤ)の設定は BVF に保存されます。
- 下位 Ver の BVF への保存時は保存されない為、メッセージが出力されます。
- PDF 出力でもレイヤ単位設定は有効となります。

3 要素単位でカラー／モノクロを設定する

各要素単位で「カラー」、「モノクロ」いずれかのラジオボタンをクリックして選択します。



「カラー／モノクロ」の設定は、通常「カラー」に設定します。ただし、モノクロプリンター出力時、プリンターによってはディザがかかってしまい、出力結果がはっきりしないことがあります。その場合は「モノクロ」に設定します。モノクロに設定するとディザがかからないよう、カラーデータを黒色で出力します。

[全カラー]または[全モノクロ]をクリックすると、全ての要素をカラーまたはモノクロに設定します。

●ラスター

ラスターデータを印刷する際の各種設定を行います。

1 透過の設定

「印刷設定」ダイアログボックスで、「透過(白背景)」、「透過(黒背景)」のいずれかのラジオボタンをマウスでクリックします。透過が指定されているラスターデータにのみ有効な設定です。透過が指定されているラスターデータを印刷する場合は「透過(黒背景)」に設定します。

製図画面に戻る場合は、製図画面の背景色によって見えなくなることがありますので、見えない場合は「透過(白背景)」に設定してください。製図画面における背景色はあくまでも図面を区別するものであり、印刷時の背景色は常に白です。この設定はこの違いを補うために付けられた機能です。

2 高速印刷のオン／オフ

ラスターデータの含まれる図面を高速で印刷するか設定することができます。「高速印刷」チェックマークをオフにした場合は、ラスターを1ラインずつプリンターへ出力し、オンにした場合は、4Mバイト以下の単位で出力します(初期状態はオフです)。

分割サイズをドロップダウンリストより選択します。

3 グレースケール印刷のオン／オフ

「グレースケール印刷」チェックマークをオンにすると、データをグレースケールで印刷します。

4 仮想ラスターの印刷オン／オフ

仮想ラスターを必ず印刷するか、表示倍率の範囲内のみ印刷するか、または必ず印刷しないかを設定します。

仮想ラスターとは、仮想ラスターとして設定することにより、効率良く図面上に複数のラスターデータを配置することができる処理です。ウィンドウの表示倍率が設定された範囲内に入りかつ表示エリア内にカーソルが入らない限り表示されずメモリにも読み込まれませんので、メモリの節約が行えます。また、各ラスターごとに表示倍率の設定が行えます。

この機能により、より多くのラスターデータを配置することができます。

「仮想ラスターを印刷する」チェックマークをオンにすると、仮想ラスターを印刷します。

仮想ラスターの印刷範囲

「全て印刷」、「表示倍率に依存」いずれかのラジオボタンをクリックして選択します。

全て印刷⇒仮想ラスタに指定したラスタデータを必ず印刷します。
表示倍率に依存⇒表示倍率の範囲内のみ印刷します。

- ・出力するプリンターによって、透過されないことがあります。
- ・高速印刷に指定してプリンター・プロッタに出力し、図面に含まれるラスタデータが大容量の場合は正しく出力されない場合があります。その場合は「分割」ドロップダウンリストの中から「しない」またはプリンター・プロッタの搭載メモリ以内の値を選択してください。但し、プリンター・プロッタの機種およびドライバによって設定方法が変わりますのでご注意ください。

●ビットマップ

ビットマップデータの印刷の可否を設定します。

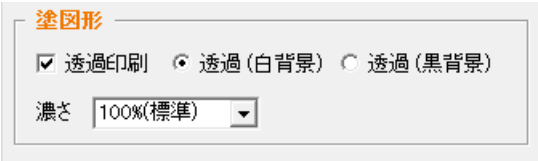
- 1 「印刷設定」ダイアログボックスで、「印刷する」チェックマークをオン・オフにして印刷する・しないを選択します。

●塗図形設定

塗図形の透過の詳細を設定します。

1 透過印刷オン/オフ

「印刷設定」ダイアログボックスで、「透過印刷」チェックマークをオン・オフにして透過印刷のオン・オフを選択します。塗図形データの透過を有効にする場合は、「透過印刷」チェックマークをオンにします。透過されて出力されます。モノクロプリンターにおいても、透過される線はグレースケールで出力されます。
「透過印刷」チェックマークをオフに設定すると透過を無視し、塗りつぶされて出力されます。出力するプリンターによって、透過されない場合があります。



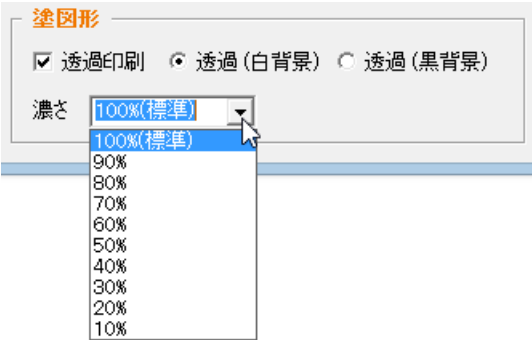
2 透過の背景を選択する

「透過 (白背景)」、「透過 (黒背景)」のいずれかのラジオボタンをマウスでクリックします。

- ・カラー、透過 ON 設定時に、透過 ON の塗図形は下地として描画されている要素の色によって色が変わりますので、ご注意ください。

3 塗図形の濃さの設定

「濃さ」ドロップダウンから塗図形の濃さを 0~100% で、10% 刻みで設定することができます。初期値は 100% (標準) です。



■各種透過モード、カラー・モノクロの設定による塗図形とその他の図形との印刷結果

「透過 (黒背景)」または「透過 (白背景)」に設定することにより、印刷結果が次の表のように異なります。

印刷設定		カラー (印刷設定)		モノクロ (印刷設定)	
		透過 OFF (塗図形)	透過 ON (塗図形)	透過 OFF (塗図形)	透過 ON (塗図形)
	透過 ON、透過 (黒背景)	描画色	透過色	黒	塗図形の枠線
	透過 ON、透過 (白背景)	描画色	透過色	黒	塗図形の枠線
	透過 OFF、透過 (黒背景)	描画色	描画色	黒	塗図形の枠線
	透過 OFF、透過 (白背景)	描画色	描画色	黒	塗図形の枠線

印刷処理

●文字設定

「文字設定」の方法を選択します。

通常 : 表示通りに印刷します。

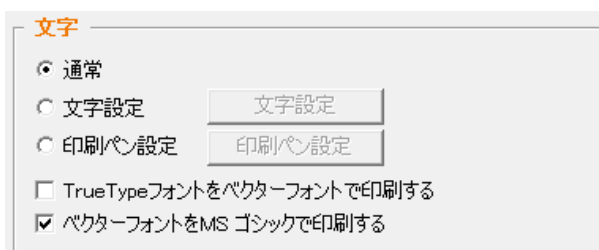
文字設定 : 「文字設定」ダイアログボックスで指定した内容で印刷します。

印刷ペン設定 : 「印刷ペン設定」ダイアログボックスで指定した内容で印刷します。この設定を選択した場合、「印刷ペン設定」ダイアログボックスで[有効レイヤ選択]をクリックすることにより、適用するレイヤを指定することができます。

TrueTypeフォント文字をTrueTypeフォントで出力するか、ベクターフォントで出力するかを設定します。ベクターフォント文字をMS ゴシックで出力するか、ベクターフォントで出力するかを設定します。

1 文字設定方法の選択

「印刷設定」ダイアログボックスの「文字設定」で、「通常」、「文字設定」、「印刷ペン設定」のいずれかのラジオボタンをマウスでクリックします。



文字設定

「文字設定」ボタンを選択し[文字設定]をクリックすると、「文字設定」ダイアログボックスが表示されます。

ただし、線幅の設定は、ベクターフォントのみ有効です。設定した印刷条件は、印刷プレビュー機能で確認することができます。

「文字高さ」入力欄内に mm 単位で高さを入力します。

「線色」、「線幅」はドロップダウンリストより選択します。

「全角」、「半角」はそれぞれ横縦の比率を入力します。文字間隔を少し調節したい時などに設定します。

[OK]をクリックすると、「印刷設定」ダイアログボックスに戻ります。



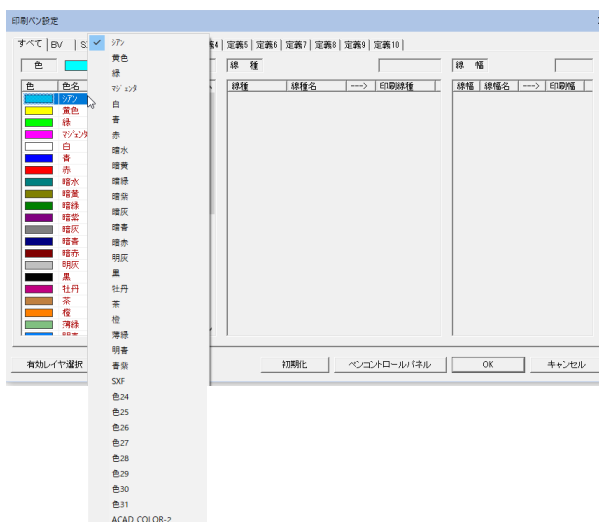
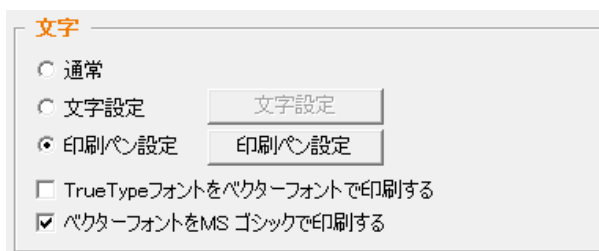
印刷ペン設定

「印刷ペン設定」を選択し[印刷ペン設定]をクリックすると、「印刷ペン設定」ダイアログボックスが表示されます。

各種の線色・線種・線幅の名に対する、各印刷時のペンの設定を行います。設定した印刷条件は、印刷プレビュー機能で確認することができます。印刷ペン設定の内容を、レイヤ単位で適用するか指定することもできます。

一覧内に色名と印刷色が表示されています。

それぞれの色を右ボタンクリックし、表示されるいずれかの色を選択します。



印刷処理

「印刷ペン設定」ダイアログボックスで[有効レイヤ選択]をクリックすると、「有効レイヤ選択」ダイアログボックスが表示されます。

「文字以外の要素への変更を有効にする」チェックマークをオンにすると、文字以外の要素へも設定を有効とします(初期状態はオンです)。

チェックマークをオンにしたレイヤ単位で「印刷ペン設定」ダイアログボックスの設定が有効となります。

【全選択】／【全解除】

表示中の項目すべてのチェックマークをオン、またはオフにします。

[OK]をクリックすると、「印刷ペン設定」ダイアログボックスに戻ります。

初期化

「印刷ペン設定」ダイアログボックスで[初期化]をクリックすると、設定を初期状態に戻します。

ペンコントロールパネル

[ペンコントロールパネル]をクリックすると、「ペンコントロールパネル」ダイアログボックスが表示されます。設定後、[OK]をマウスでクリックすると、「印刷ペン設定」ダイアログボックスに戻ります。

「印刷ペン設定」ダイアログボックスで[OK]をクリックすると、「印刷設定」ダイアログボックスに戻ります。

2 TrueType フォントをベクターフォントで印刷する

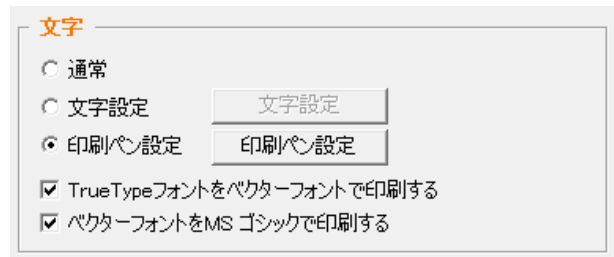
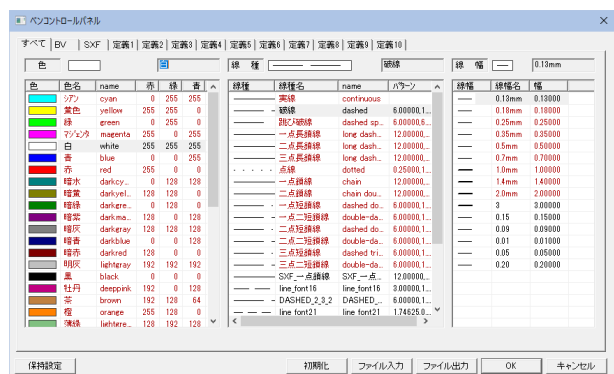
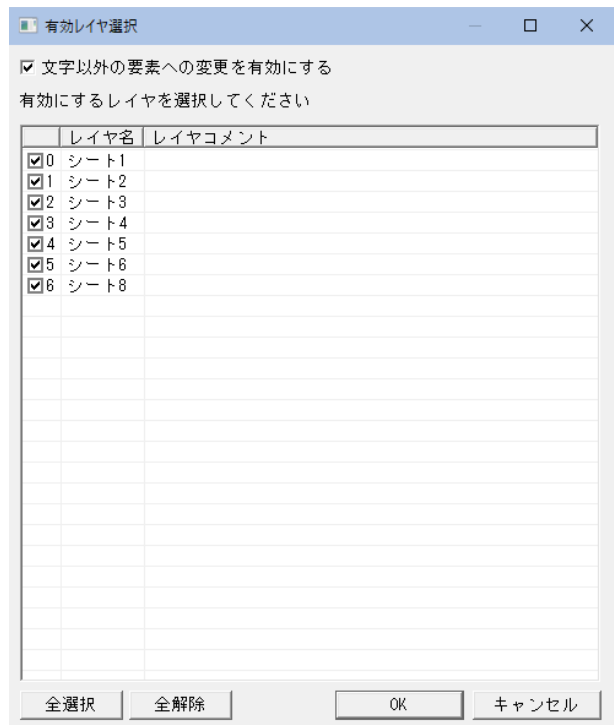
「TrueType フォントをベクターフォントで印刷する」チェックマークをオンにすると、図面上に描画されている TrueType の文字を本 CAD システムフォントの「ベクターフォント」で出力します。

オフの場合は、図面上に描画されている TrueType の文字を「TrueType」で出力します。ただし、出力機器によって正常に出力されない場合があります。

3 ベクターフォントをMSゴシックで印刷する

「ベクターフォントをMSゴシックで印刷する」チェックマークをオンにすると、図面上に描画されているベクターフォント文字を「MS ゴシック」で出力します。ただし、出力機器によって正常に出力されない場合があります。

オフの場合は、図面上に描画されているベクターフォント文字を本 CAD システムフォントの「ベクターフォント」で出力します。



●その他

各色の線幅設定を有効にする／無効にする、印刷ペン設定、ヘッダー・フッター設定など、各種の設定を行います。

1 各色の線幅設定を有効にする

「各色の線幅設定を有効にする」チェックマークをオンにすると、「各色の線幅設定」ダイアログボックスで設定した内容が有効となります(初期状態は、オフです)。

各色の線幅設定

[各色の線幅設定]をクリックすると、「各色の線幅設定」ダイアログボックスが表示されます。

設定する線色名をマウスでクリックします。

[線幅設定]をマウスでクリックすると、「線幅設定」ダイアログボックスが表示されます。

「実線」、「その他」ボックスの下向き矢印ボタンをマウスでクリックしドロップダウンリストから設定する線幅をマウスでクリックします。設定後、[OK]をマウスでクリックします。「各色の線幅設定」ダイアログボックスで[OK]をクリックすると、「印刷設定」ダイアログボックスに戻ります。

対象線幅

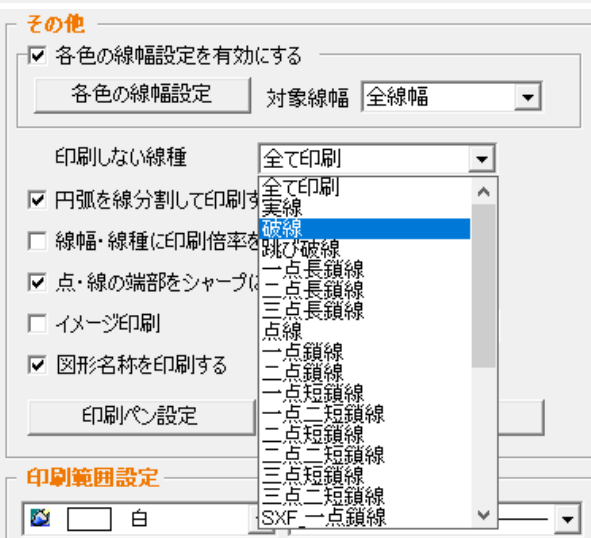
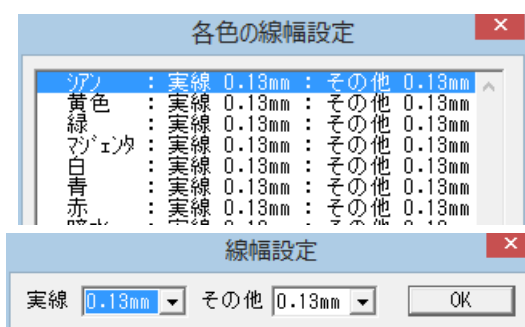
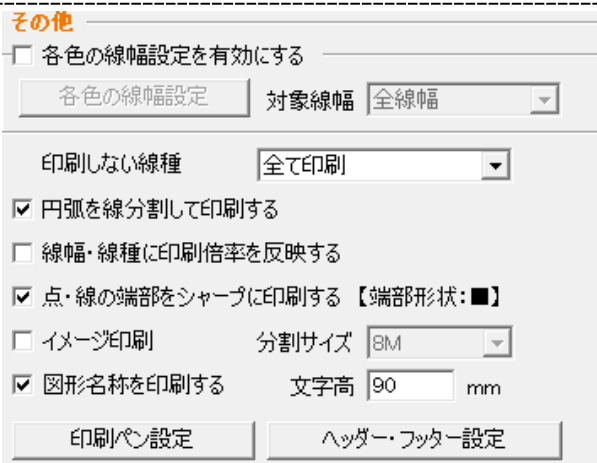
「各色の線幅設定」の設定内容をどの線幅に有効とするか、選択します。「対象線幅」ドロップダウンリストより、対象となる線幅を選択します。

2 印刷しない線種を指定する

ドロップダウンリストより、全て印刷、またはいずれかの線種を選択します。

設定後の新規図面で印刷しない線種は、[ツール]－[新規図面設定]－[用紙]で設定します。

● → Part1 図面管理 5. 新規図面設定を行う「用紙」の設定を行う



円弧を線分割して印刷する

「円弧を線分割して印刷する」チェックマークをオンにすると、線分割して円弧表示します(初期状態はオンです)。
解像度が高い、または用紙サイズが大きい場合、円弧が正しく表示されない場合があります。その場合、オンを選択してください。

線幅・線種に印刷倍率を反映する

「線幅・線種に印刷倍率を反映する」チェックマークをオンにすると、倍率をかけて印刷する場合、線幅・線種に倍率がかけられます(初期状態はオフです)。

点・線の端部をシャープに印刷する

「点・線の端部をシャープに印刷する」チェックマークをオンにすると、点や線のエッジをフラットにした状態で印刷するように指定することができます(初期状態はオンです)。

イメージ印刷

「イメージ印刷」チェックマークをオンにすると、PDF ファイル、PS 対応のプリンター/プロッタへの出力など透過が表現できない場合でも作業用のイメージ(ビットマップ)を作ることで透過を可能にします(初期状態はオフです)。

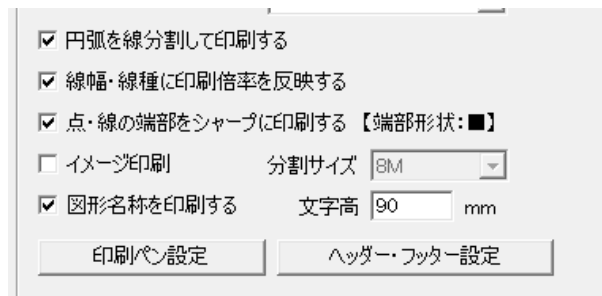
ただし、PDF の処理能力を超える大きなデータの場合には出力できないことがあります。

分割サイズ

「分割サイズ」ドロップダウンリストより、分割する際のイメージデータサイズを選択します。

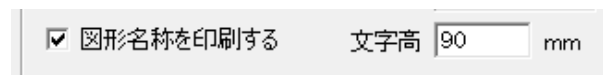
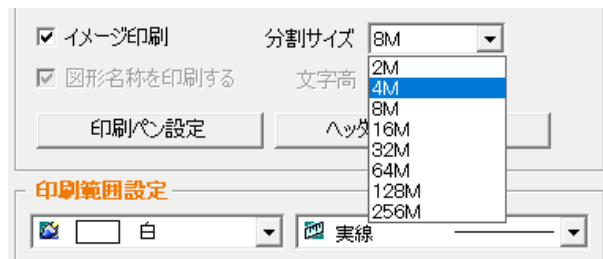
図形名称を印刷する(オプションのみ)

GIS オプションの文字情報、完成平面図オプションの図形名の印刷の有無を設定します。オプションがない場合や「イメージ印刷」チェックマークがオンの場合にはグレー表示になります。
「図形名称を印刷する」チェックマークをオンにすると、図形名称を印刷します(初期値はオフです)。
「文字高」入力欄内に印刷時の文字高を mm 単位で指定します。



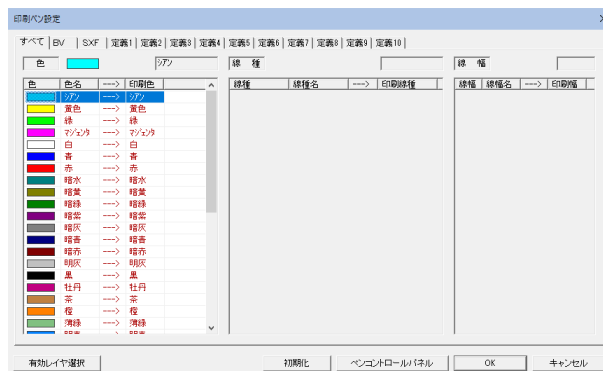
▼「点・線の端部をシャープに印刷する」をオン

▼「点・線の端部をシャープに印刷する」をオフ



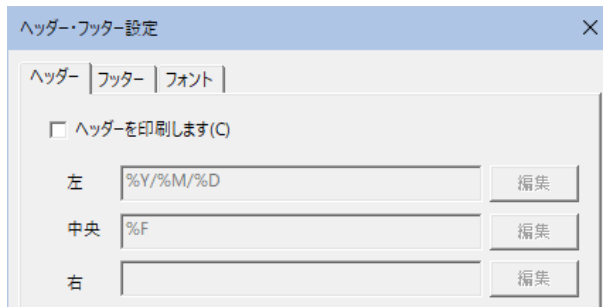
3 印刷ペン設定

[印刷ペン設定]をクリックすると、「印刷ペン設定」ダイアログボックスが表示されます。
各種の設定を行い、[OK]をクリックすると、「印刷設定」ダイアログボックスに戻ります。



4 ヘッダー・フッター設定

[ヘッダー・フッター設定]をクリックすると、「ヘッダー・フッター設定」ダイアログボックスが表示されます。
操作方法は「●ヘッダー・フッターの設定」で説明しています。
各種の設定を行い、[OK]をクリックすると、「印刷設定」ダイアログボックスに戻ります。



● ヘッダー・フッターの設定

「印刷設定」ダイアログボックスで[ヘッダー・フッター設定]をクリックし、ヘッダー、フッター、フォントの設定を行います。[ヘッダー]、[フッター]、[フォント]のタブをクリックし表示を切り替えて設定を行います。

1 [ヘッダー]、[フッター]タブ(共通)

用紙の上側に印刷するヘッダー、フッターの文字列を用紙の「左」「中央」「右」の3つにわけて入力します。「ヘッダー・フッター設定」ダイアログボックスで[ヘッダー]または[フッター]タブをクリックすると、ヘッダーまたはフッター設定用のダイアログボックスが表示が切り替わります。

ヘッダーを印刷します/フッターを印刷します

「ヘッダーを印刷します」または「フッターを印刷します」チェックマークをオンにすると、ここで設定した内容を有効にし、一覧印刷時にヘッダーまたはフッターを印刷します。

左、中央、右

「左」、「中央」、「右」の各入力欄内に文字列を入力します。通常の文字以外に、「日付」、「時刻」などに印刷時に置き換える書式文字列を入力することができます。

書式文字列には、次のような種類があります。

%f	ファイル名
%F	ファイルのパス
%A	アプリケーション名
%p	ページ
%P	総ページ数
%Y	年(西暦)
%M	月
%D	日
%H	時
%I	分
%S	秒

編集

「左」、「中央」、「右」の各右側にある[編集]をクリックすると、「ヘッダー(左)」、「ヘッダー(中)」、「ヘッダー(右)」の各ダイアログボックスが表示されます。

「」入力欄内にマウスカーソルがある状態でいずれかのボタンをクリックすると、書式文字列が入力されます。

<書式文字列設定例>

■例) 「2000 / 06 / 16 18 : 30 : 00」 と印刷したい場合
%Y / %M / %D %H : %I : %S と入力

■例) 「ページ / 総ページ数」 と印刷したい場合
%p / %P と入力

日付タイプ

日付タイプを「図面作成日時」または「図面出力日付」のいずれかのラジオボタンをクリックして選択します。

2 [フォント]タブ

「ヘッダー」、「フッター」のフォントをそれぞれ設定します。
「ヘッダー・フッター設定」ダイアログボックスで[フォント]タブをクリックすると、フォント設定用のダイアログボックスに表示が切り替わります。

ヘッダー、フッターのフォント種別

ドロップダウンリストボックスからいずれかのフォントの種別を選択します。

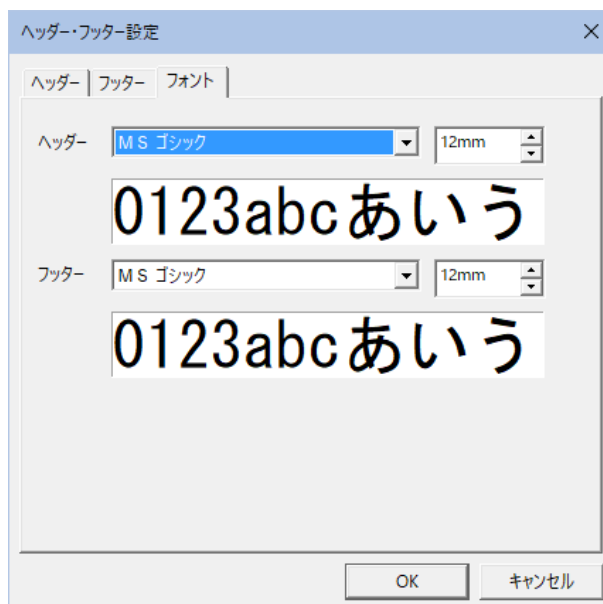
ヘッダー、フッターのフォントのサイズ

▲、▼をクリックし、いずれかのフォントのサイズを選択します。

プレビュー

それぞれのフォントのプレビューがフォント種別の下に表示されます。

- 3 「ヘッダー・フッター設定」ダイアログボックスで[OK]をクリックすると、「印刷設定」ダイアログボックスに戻ります。



●印刷範囲設定

印刷範囲の色や線種の設定を行います。

1 色・線種の選択

色、線種のドロップダウンリストよりいずれかの色・線種を選択します。

- ・印刷範囲の線色と背景色が同色の場合は、印刷範囲の線色を反転して表示します。



●印刷設定ファイル

保存した印刷設定ファイルの読み込み、または保存を行います。

1 読み込み

[読み込み]をマウスでクリックすると「印刷設定ファイル読み込み」ダイアログボックスが表示されます。



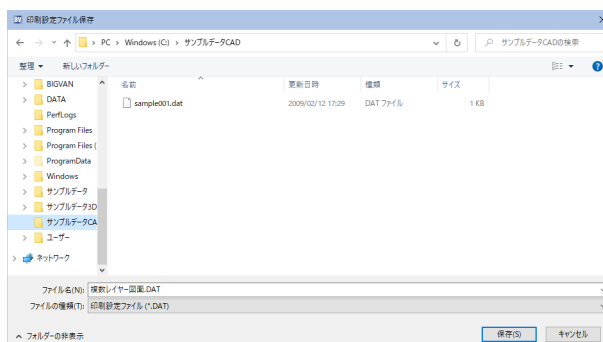
印刷設定ファイルをマウスでクリックし、[開く]をマウスでクリックします。

設定ファイルの内容が読み込まれ、「印刷設定」ダイアログボックスに戻ります。

2 保存

[保存]をマウスでクリックします。「印刷設定ファイル保存」ダイアログボックスが表示されます。

「設定名」入力欄内に印刷設定ファイル名を入力し、[保存]をクリックすると、印刷設定ファイルが保存され、「印刷設定」ダイアログボックスに戻ります。



2 出力範囲設定・印刷実行

ファイル(F) → 印刷範囲 → 範囲設定

出力範囲を設定する

出力範囲を設定します。出力範囲に任意の角度を設定することもできます。角度を設定した場合は、印刷プレビューも傾いて表示されます。

その他のコマンド起動方法

- ツールボックス（サブメニュー） → [印刷]（－[範囲設定]）
- ツールボックス（ポップアップメニュー） → [印刷]（－[範囲設定]）

1 出力範囲を設定する前に、「プリンターの設定」で、出力する用紙サイズ、用紙向きを設定しておきます。

2 本コマンドを起動し、サブメニュー欄の[範囲設定]をクリックします。

倍率

「倍率」入力欄内に倍率を入力します。

傾き指定

「傾き指定」チェックマークをオンにすると、傾きのある印刷範囲を指定することができます。ただし、表示シートに縦横異縮尺のシートが存在するときには、以下のメッセージが表示されます。


「縦横異縮尺のシートが表示シートに存在する為、傾きの指定は出来ません」

3 倍率を入力し、Enter キーを押すと、「傾き指定」がオンの場合は、傾き入力欄が表示されます。角度を入力し、Enter キーを押します。

4 出力範囲の始点をマウスでクリックします。倍率を指定した場合は、その大きさのボックスが表示されます。

5 マウスの動きにともない、出力範囲がボックス表示されます。終点をマウスでクリックします。

6 [はい]をマウスでクリックすると、出力範囲が設定されます。倍率がメッセージ欄に表示されます。

 印刷 → 「プリンターの設定を行う」、「各種の処理条件について」

ファイル(F) → 印刷範囲 → 範囲移動

設定した出力範囲を移動する

設定した出力範囲を移動します。

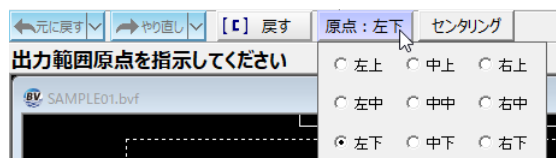
その他のコマンド起動方法

- ツールボックス（サブメニュー） → [印刷]（－[範囲移動]）
- ツールボックス（ポップアップメニュー） → [印刷]（－[範囲移動]）

1 本コマンドを起動し、サブメニュー欄の[範囲移動]をマウスでクリックします。

原点の選択

サブメニュー欄の[左下]をクリックすると、各種の原点が表示されますので、いずれかのラジオボタンをクリックして選択します。



2 マウスの動きにともない、出力範囲枠が移動します。出力範囲原点を任意の位置に合わせ、マウスをクリックします。サブメニュー欄の[センタリング]をクリックすると、印刷範囲がセンタリングされて設定されます。

印刷処理

長尺出力を行う

現在の図面データを、長尺用紙で出力します。長尺出力に対応しているプロッタにのみ有効です。

コマンドの起動方法

- ツールボックス (サブメニュー) → [印刷] (←[長尺枚数])
- ツールボックス (ポップアップメニュー) → [印刷] (←[長尺枚数])

- 1 本コマンドを起動し、「長尺枚数=」入力欄内に選択した用紙を何枚複数つなげて印刷するか、入力し、**Enter** キーを押します。
サブメニュー欄には、[長尺(X 枚)] (X=指定した枚数) と表示されます。
- 2 再度、[長尺(X 枚)]を選択し、「1」を入力し、**Enter** キーを押すと、サブメニュー欄の表示は[通常(1 枚)]に戻ります。

出力範囲を追加する

複数の出力範囲を設定します。

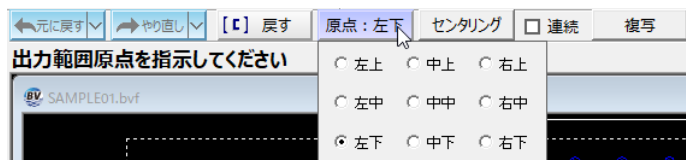
その他のコマンド起動方法

- ツールボックス (サブメニュー) → [印刷] (←[範囲追加])
- ツールボックス (ポップアップメニュー) → [印刷] (←[範囲追加])

- 1 本コマンドを起動し、サブメニュー欄の[範囲追加]をマウスでクリックします。

原点の選択

サブメニュー欄の[左下]をクリックすると、各種の原点が表示されますので、いずれかのラジオボタンをクリックして選択します。



センタリング

[センタリング]をクリックすると、印刷範囲がセンタリングされて設定されます。

連続

サブメニュー欄の「連続」チェックマークをオンにすると、印刷範囲を 1 個追加後、範囲追加処理を連続して実行します。「連続」チェックマークがオフの場合は、印刷範囲を 1 個追加後、範囲追加コマンドを終了します。

複写

- ①サブメニュー欄の[複写]をクリックすると、範囲選択の始点指示モードとなりますので、マウスにて指示します。
- ②続いて範囲選択の終点をマウスにて指示します。
- ③複写の原点をマウスにて指示します。
- ④複写先の点をマウスにて指示します。
- ⑤「メニューを選択してください[L/R-別図形]」と表示され、サブメニュー欄に「範囲追加」「【A】別図形」「【@】連続」が表示されます。

範囲追加 : 範囲追加の先頭に戻ります。

【A】別図形 : 別の印刷範囲の複写を実施。操作①に戻ります。

【@】連続 : 操作①～④で実施した複写元の印刷範囲と、複写後の印刷範囲の移動距離を保持して、連続複写を実行します。

- 2 マウスの動きにともない、追加する出力範囲枠が移動します。出力範囲原点を任意の位置に合わせ、マウスをクリックします。

ファイル(F) → 印刷範囲 → 範囲一括追加
出力範囲を一括追加する

出力範囲を一括で追加します。

その他のコマンド起動方法

- ツールボックス（サブメニュー） → [印刷]（－[範囲一括追加]）
- ツールボックス（ポップアップメニュー） → [印刷]（－[範囲一括追加]）

- 1 本コマンドを起動し、サブメニュー欄の[範囲一括追加]をマウスでクリックします。
複数の出力範囲がある場合は、マウスで一括追加する出力範囲を指示します。
- 2 サブメニュー欄の「範囲一括追加の個数（横、縦）」入力欄内に追加個数を横、縦の順に入力します。
- 3 サブメニュー欄の「印刷範囲の重なり（横、縦）」入力欄内に重なり範囲を横、縦の順に入力します。
- 4 確認メッセージが表示されますので、よければ[はい]をクリックします。複数の出力範囲が一括追加されます。
▼ 横＝2,縦＝3と入力した場合


ファイル(F) → 印刷範囲 → 範囲削除
出力範囲を削除する

追加した出力範囲を削除します。複数の出力範囲がある場合のみ選択できる機能です。

その他のコマンド起動方法

- ツールボックス（サブメニュー） → [印刷]（－[範囲削除]）
- ツールボックス（ポップアップメニュー） → [印刷]（－[範囲削除]）

- 1 本コマンドを起動し、サブメニュー欄の[範囲削除]をマウスでクリックします。
- 2 マウスで削除する出力範囲枠を指示します。確認メッセージ出力後、指示された出力範囲枠が削除されます。

ファイル(F) → 印刷範囲 → 範囲一括削除
出力範囲を一括削除する

追加した出力範囲を一括削除します。複数の出力範囲がある場合のみ選択できる機能です。

その他のコマンド起動方法

- ツールボックス（サブメニュー） → [印刷]（－[範囲一括削除]）
- ツールボックス（ポップアップメニュー） → [印刷]（－[範囲一括削除]）

- 1 本コマンドを起動し、サブメニュー欄の[範囲一括削除]をマウスでクリックします。
- 2 確認メッセージ出力後、1番の出力範囲以外が削除されます。

印刷するページ範囲を指定する

印刷メニューから印刷するページ範囲を指定します。

その他のコマンド起動方法

■ ツールボックス (サブメニュー) → [印刷]

■ ツールボックス (ポップアップメニュー) → [印刷] (－[ページ指定])

- 1 印刷範囲を複数設定し、本コマンドを起動してサブメニュー欄の「ページ指定」をマウスでクリックします。
- 2 サブメニュー欄の「ページ指定」入力欄内にページ数を入力します。ページ数のほかに、「,’ (ページ区切り)」、「-」 (ページ範囲) を入力することができます。

■ 印刷範囲設定

サブメニューの「印刷範囲設定」をクリックすると「印刷範囲設定」ダイアログボックスが表示されます。印刷順の変更と、印刷をする印刷範囲を選択することができます。

印刷範囲の選択

一覧表示内の「印刷」チェックマークをクリックして、印刷する範囲番号を選択します。

[全選択] / [全解除]

一覧表示内のすべてのチェックマークをオン、またはオフにします。

図面から取得

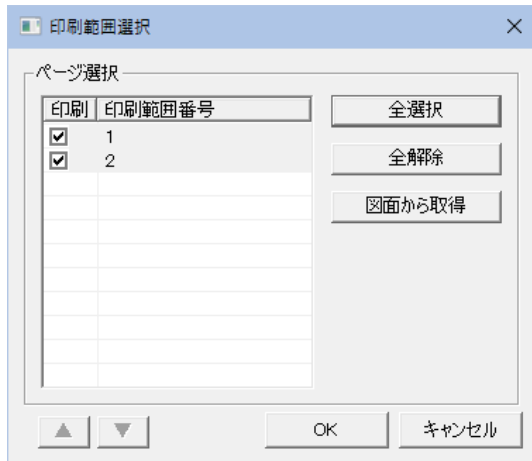
「図面から取得」をクリックすると、図面上の印刷範囲を指示して印刷のチェックのオン・オフを切り替えます。

[▲] / [▼]

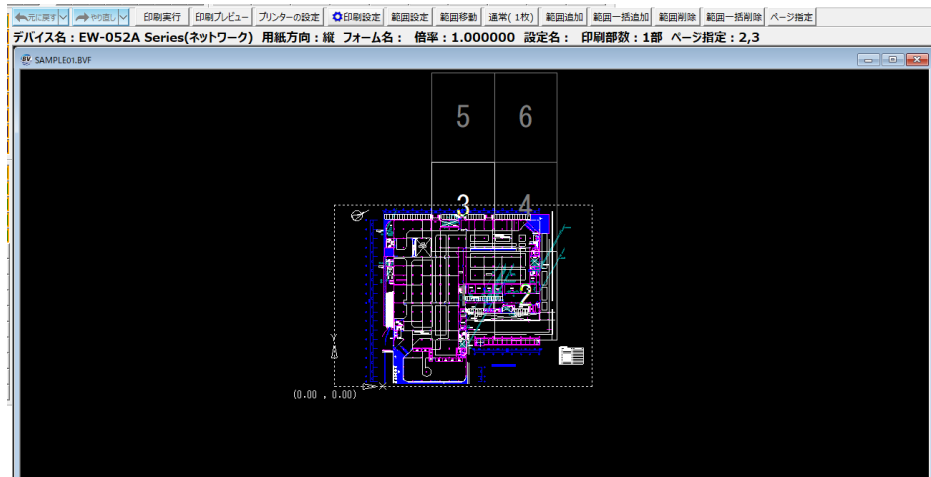
選択中の項目を一覧表示内で上へ移動、または下へ移動します(複数選択することができます)。

「印刷範囲選択」ダイアログボックスで[OK]をクリックすると、設定した内容はページ設定 (サブメニュー) の入力欄内に反映されます。

- 3 ページ数を指定し、Enter キーを押すとページ指定が実行され、サブメニュー欄に表示されます。



- ・ ‘,’ は連続して2つ入力する事で‘,’に変換することができます。
- ・ ページ指定は32文字まで、記号を連続して記述することはできません。また、先頭、末尾への記号の記述および印刷範囲数を超える数字の記述もできません。
- ・ ページ指定に空白を指定した時は通常通りの全ページ印刷となります。
- ・ ページ指定に「,’」(カンマ)を記述した場合は、指定したページのみを印刷し、ページ番号に「-」(ハイフン)を記述した場合は、指定したページの範囲内を印刷します。「,’」と「-」は組み合わせて指定できます。
- ・ ページ指定を記述した場合、印刷対象外の印刷範囲枠は灰色で表示されます。



印刷範囲を図面として保存する

印刷範囲(複数可)を図面として保存します。

その他のコマンド起動方法

■ ツールボックス(サブメニュー) → [印刷] (←[図面保存])

■ ツールボックス(ポップアップメニュー) → [印刷] (←[図面保存])

1 印刷範囲を指定します。範囲追加して複数の範囲指定も可能です。

2 サブメニュー欄の[図面保存]をマウスでクリックします。
「図面保存」ダイアログボックスが表示されます。

ページ選択

保存するページを「保存」欄のチェックマークをオンにして選択します。

[全選択]/[全解除]

一覧表示内のすべてのチェックマークをオン、またはオフにします。

ページ指定と同期

[ページ指定と同期]をクリックすると、印刷するページ範囲で指定した内容が反映されます。

例えば4ページ中、1と3ページだけ印刷する設定がしてある場合、ページ指定と同期ボタンを押すと、保存対象のチェックボックスが1と3ページだけがONになり、そのほかはOFFになります。

保存先フォルダー

保存先フォルダーのパスを手入力、または[参照]、[ショートカット]により選択します。

[X]をクリックすると、パスをクリアします。

[参照]をクリックすると、「フォルダーの選択」ダイアログボックスが表示されますので、いずれかのフォルダーを選択し、[OK]をクリックすると、フォルダーを選択します。

[ショートカット]をクリックすると、「ショートカット選択」ダイアログボックスが表示されますので、いずれかのショートカットを選択し、[OK]をクリックすると、ショートカットを選択します。

保存先ファイル形式

ドロップダウンリストよりファイル形式とバージョンを選択します。

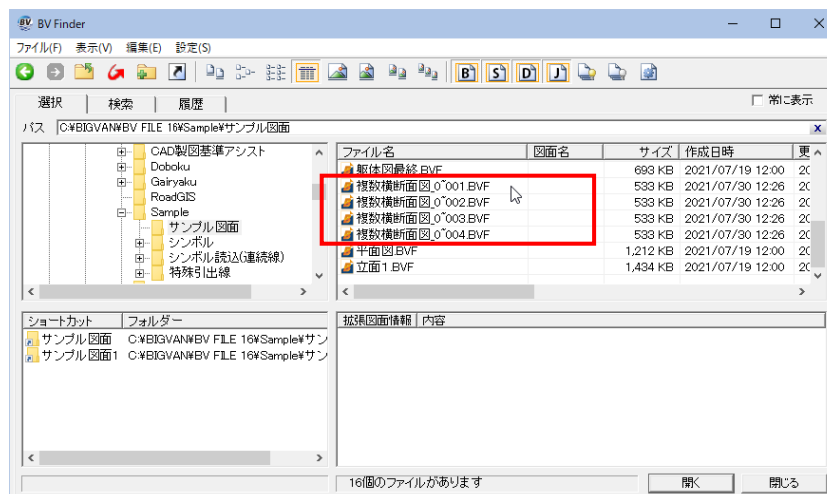
ファイル形式ドロップダウンリストで[BVF]が選択されたときのみ、「ZIP圧縮形式(*.BVFZ)」チェックマークをオンにすると、図面をZIP圧縮形式(*.BVFZ)で保存します。

外部入出力設定

[外部入出力設定 >>]をクリックすると、ドロップダウンリストが表示されます。いずれかの外部ファイルを選択すると、それぞれの変換テーブル設定ダイアログボックスが表示されます。

2 「図面保存」ダイアログボックスで[保存]をクリックすると、設定した内容で図面保存が実行されます。
保存ファイル名は、「保存元ファイル名+(チルダ)+3桁の番号(ページ番号)+拡張子」となります。





ファイル(F) → 印刷プレビュー

印刷のプレビューを行う

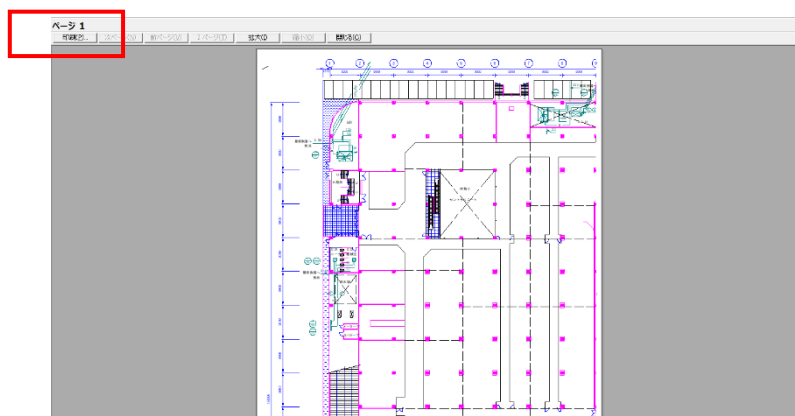
印刷のプレビューを行います。

コマンドの起動方法

- ツールボックス (サブメニュー) → [印刷] (←[印刷プレビュー])
- ツールボックス (ポップアップメニュー) → [印刷] (←[印刷プレビュー])

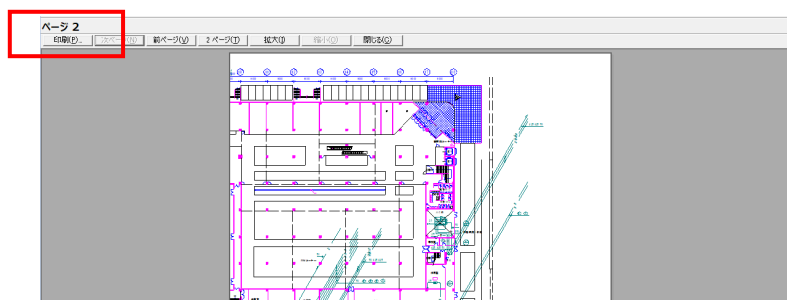
- 1 本コマンドを起動すると、プレビュー画面に切り替わります。
- 2 [拡大]をクリックすると、拡大表示を行います。
[縮小]をクリックすると、拡大表示前に戻ります。
- 3 [閉じる]をマウスでクリックすると製図画面に戻ります。
[印刷]をクリックすると、「印刷」ダイアログボックスが表示されます。
「印刷」ダイアログボックスでは、部数を設定できます。[OK]をクリックすると印刷を実行します。

- ・「印刷」ダイアログボックスの[プロパティ]ボタンをクリックして用紙方向などの各種設定により変更を行うと、[ツール]メニューで行った用紙設定の内容が変更されてしまいますので、なるべくこのダイアログボックス上で設定を変更しないようにしてください。
- ・印刷プレビュー選択後、傾き印刷ONで異縮尺の表示シートがある場合、以下のメッセージが表示されます。
「印刷で傾きを指定している為、縦横異縮尺のシートは正しく印刷されない可能性があります」
[OK]をクリックするとプレビューが開始されます。



印刷処理

複数の印刷範囲を設定した場合、プレビューウィンドウの表示内に、ページ数が表示されます。
[次ページ]、[前ページ]をクリックすると、出力範囲の表示を切り替えることができます。

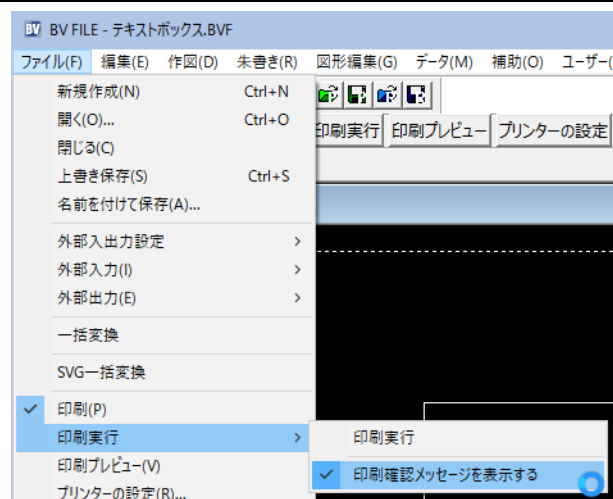


ファイル(F) → 印刷実行 → 印刷確認メッセージを表示する

印刷実行時に印刷確認メッセージを表示する

印刷実行時に確認メッセージを表示します。

- 1 本コマンドを起動すると、「印刷確認メッセージを表示する」チェックマークのオン、オフが切り替わります。
初期状態はオフです。

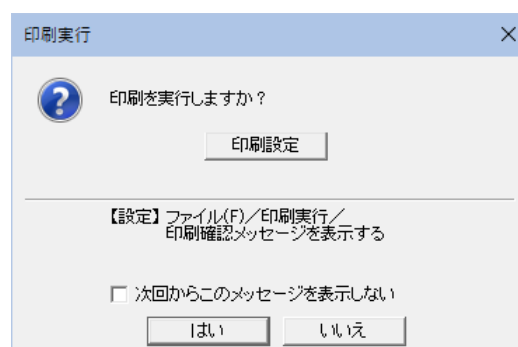


- 2 「印刷確認メッセージを表示する」チェックマークをオンにして [ファイル] → [印刷実行] → [印刷実行] または、プレビュー画面で [印刷] をクリックすると、「印刷実行」ダイアログボックスが表示されます。

[印刷設定] をクリックすると、「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。各種の設定を行い [設定を変更] をクリックすると、印刷メニューに戻ります。印刷する時は、印刷コマンドを実行してください。印刷設定の変更を行わない場合は、印刷設定画面で [変更しない] を選択ください。
「印刷実行」ダイアログボックスに戻ります。

「次回からこのメッセージを表示しない」チェックマークをクリックすると、次に印刷実行を行った際にこの「印刷実行」ダイアログボックスが表示されなくなります。

[はい] をクリックすると、印刷を実行します。



印刷処理

ファイル(F) → 印刷

印刷プレビュー画面から作図した図面を印刷する

印刷プレビュー画面から作図した図面を印刷します。

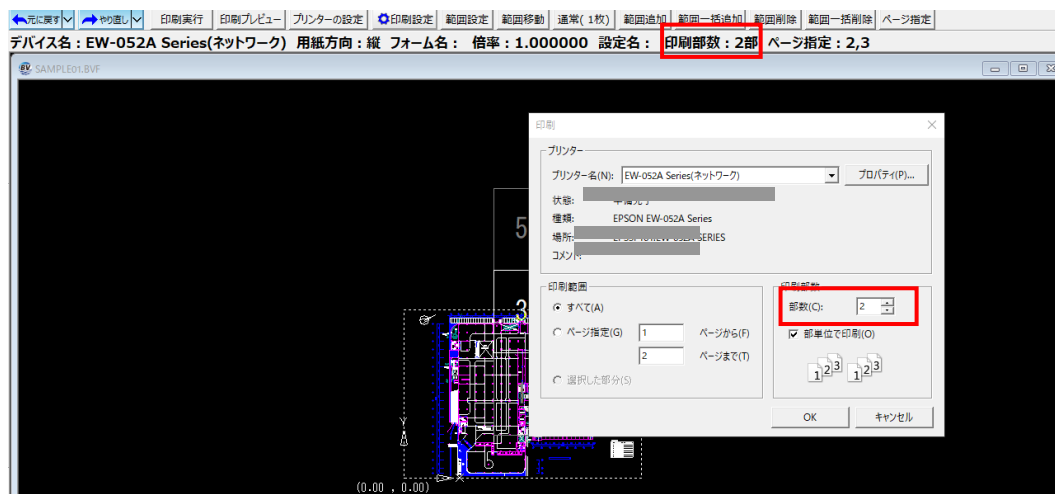
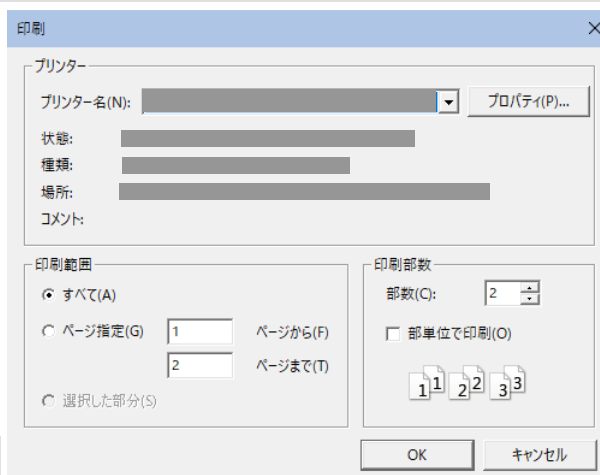
コマンドの起動方法

- ツールボックス (サブメニュー) → [印刷] (←[印刷プレビュー])
- ツールボックス (ポップアップメニュー) → [印刷] (←[印刷プレビュー])

- 1 本コマンドを起動すると、プレビュー画面に切り替わります。
- 2 [印刷] をクリックすると、「印刷」ダイアログボックスが表示されます。
「プリンター名」のドロップダウンリストからプリンターをマウスで選択します。
「印刷範囲」を、「すべて」、「ページ指定」、「選択した部分」いずれかのラジオボタンをクリックして選択します。
「ページ指定」を選択した場合は、印刷するページを入力欄に入力します。
「印刷部数」をドロップダウンリストより選択します。

- 3 [OK] をマウスでクリックすると、印刷が実行されます。

・メッセージ欄の末尾に“ 印刷部数 : n 部 ”と部数が表示されます。





印刷
処理

作図した図面を印刷する

作図した図面を印刷します。

コマンドの起動方法

- ツールバーメニュー → 
- ツールボックス → [印刷]

- 1 本コマンドを起動すると、製図画面上に出力範囲の枠が表示されます。
出力範囲の設定、出力範囲の移動などを行います。
 → 「出力範囲を設定する」、「設定した出力範囲を移動する」
- 2 サブメニュー欄の[印刷実行]をクリックします。
- 3 印刷が実行されます。

・印刷選択後、傾き印刷ONで異縮尺の表示シートがある場合、以下のメッセージが表示されます。
「印刷で傾きを指定している為、縦横異縮尺のシートは正しく印刷されない可能性があります」
[OK]をクリックすると印刷が開始されます。[キャンセル]をクリックすると印刷されずに印刷メニューに戻ります。

作図した図面をダイレクト印刷する

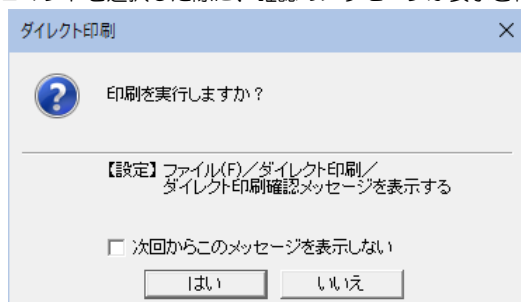
作図した図面をダイレクトに印刷します。印刷メニューの印刷コマンドよりも、直接印刷処理を実行できます。
ダイレクト印刷コマンドを[ツール]－[カスタマイズ]－[キー割付]コマンドでキーに割り当て、キーのワンブッシュで印刷を実行することもできるようになります。
[ツール]－[カスタマイズ]－[ユーザーファンクションウィザード]コマンドで、メニューに登録することも可能です。
ダイレクト印刷メニューには、ダイレクト印刷確認メッセージの表示の有無を選択するコマンドもあります。

● ダイレクト印刷確認メッセージの有無を選択する

コマンドの起動方法

- ブルダウンメニュー → [ファイル]－[ダイレクト印刷]－[ダイレクト印刷確認メッセージを表示する]

- 1 「ダイレクト印刷確認メッセージを表示する」チェックマークのオン・オフを切り替えることができます。
オンの場合は、[ダイレクト印刷]コマンドを選択した際に、確認のメッセージが表示されます。



メッセージボックス内の「次回からこのメッセージを表示しない」チェックマークをオンにすると、次回以降、ダイレクト印刷を実行すると、メッセージは表示されずに印刷が開始されます。

- 2 「ダイレクト印刷確認メッセージを表示する」チェックマークがオフの場合は、確認メッセージを表示せずにダイレクトに印刷が開始されます。

● ダイレクト印刷を実行する

コマンドの起動方法

- ブルダウンメニュー → [ファイル]－[ダイレクト印刷]－[ダイレクト印刷]

- 1 本コマンドを起動すると、ダイレクト印刷を実行します。
「ダイレクト印刷確認メッセージを表示する」チェックマークがオンの場合は、確認のメッセージが表示され、チェックマークがオフの場合は、確認メッセージを表示せずにダイレクトに印刷が開始されます。